

平成20年度商工会事業評価システム【事業分野別指標達成度及び注目すべき実績】一覧表

商工会名	指標達成度		注目すべき実績		目標値設定の妥当 妥当性はあるか	報告の有無	
	事業分野	達成度	重点課題項目として実施した注目すべき実績はどうか	今後の展開について		理事会	総(代)会
前橋東部	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	73.9% 70.6% 82.1% 100.0% 12.6% 100.0% 81.1% 87.3%	①【区分1】経営指導員1人あたりの指導件数：内容の充実した指導計画を策定し実行することを心掛け、全会員巡回を実施した。②【区分1】部会活動（建設部会）：各種技能講習会に参加し、技術を向上させ資格を習得した。③【区分3】パソコン研修会の開催：ワード・エクセル基礎知識の習得、およびデジカメ貼付・エクセル関数の基礎知識の習得。④【区分8】共催推進・会員加入促進：新規会員加入14事業所、脱会36事業所であった。⑤【区分1】商業部会（販促用チラシの作成・配布）：地域住民に対し、商工会会員事業所のPRと、会員事業所の販促のためのチラシを作成し、全戸配布。⑥【区分1】部会活動事業（観光・飲食部会）：「大芋煮会」を実施し、地元観光施設のPR。⑦【区分1】部会活動事業（工業部会）：部会員の事業所訪問・見学を実施。	①企業巡回を徹底し、経営相談、経営革新等を中心として、様々な会員ニーズに対応できる事務局体制の確立。②講演会・講習会を開催し、技術・技能習得に努める。③アンケート調査を実施し、次回の講座開催の参考とする。④会員増による組織率の向上・自己財源の確保。⑤3回発行したが同一企業の掲載が続き、費用対効果面で問題が残された。再考の必要性あり。⑥地域イメージ創造に係わる事業研究の必要性がある。⑦部会員間の受注の促	5月8日	5月22日	
群馬伊勢崎	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	130.6% 94.5% 71.3% 65.1% 0.0% 0.0% 80.7% 85.5%	①【区分6】群馬伊勢崎商工会中期経営ビジョン策定事業：提言書を70部作成、委員並びに役員へ配布。会員ニーズ調査結果報告書も役員へ配布。②【区分2】経営革新事業の推進：中小企業新事業活動促進法に基づく経営革新計画承認支援により、6社の支援及び年内に3社の承認を得た。また、創業者人材育成事業として、創業塾（ネットショップ起業塾6日間）、経営革新塾（商業経営革新塾7日間、ネット経営革新塾6日間）を開催すると共に、経営革新指導を行った。③【区分4】地域振興調査事業の実施：スマーク出店後の2月に、2種類の調査を実施すると共に、地域振興経営対策会議（経営者ヒアリング）を開催し、個別店舗の活性化策等について検討を行った。④【区分8】緊急経営対策アンケート調査：平成21年1月に会員を対象とした緊急アンケートを実施した。	①平成21年度は、役員改選が行われ新たな執行部体制による事業運営がなされるため、本年度は中間報告という位置付けとし、改めて提言内容を検証しつつ、最終報告を行う予定である。②商工会が経営革新の指導をするということが、年々広まりつつあり、地域の経済団体としての知名度が上がってきたものと思われる。③21年度も継続調査実施。④金融、受注、雇用問題が主要なテーマとなり、今後の事業計画に反映させることとしている。	4月22日	5月21日	
茨西市北橋	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	97.3% 76.8% 48.3% 86.6% 38.3% 50.0% 88.3% 80.3%	①【区分5】古代ロマンの里 たちばな 事業：看板における情報コーナーの活用を図る。キャラクターを作り、キャラクターを活用した絵馬の製作及び販売。②【区分5】たちばな古里まつり：祭りの開催により、地域の商工会であることを知らしめることができた。③【区分1】エキスパート事業の活用：商工会事業のピーアールが図られた。エキスパート：5回、経営安定特別相談：1回。④【区分1】巡回指導の強化：会員事業所に年5回巡回訪問を実施した。また、非会員事業所に巡回活動を行い商工会のピーアールに努めた。⑤【区分4】地域商店会共同売り出し事業：2日間で170人1480回の抽選がなされた。回収率も92.3%と高く顧客サービスにつながった。⑥【区分4】飲食店パンフレットの作成：飲食店のパンフレットを作成し、自治会長経由にて北橋町全戸に配布した。	①橋山の整備をすることにより観光の拠点としたい。②中学生の古代行列だけでも観光客を呼べる祭りに定着させたい。③専門家に相談することで、経営者の安心や経営の改善点等を図っていけると考える。④巡回指導を強化することにより商工会事業の紹介を図りたい。⑤商店会で共同して実施することにより会員事業所の連携が図れる。⑥業種毎にパンフレットを作成し会員事業所を紹介していくことにより消費者に地区内の事業所を知ってもら	4月24日	5月24日	
茨西市赤城	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	86.6% 38.9% 25.1% 99.2% 37.1% 100.0% 64.3% 85.0%	①【区分1】窓口・巡回相談指導事業：経営内容の深刻化に対応し、問題点の抽出や対応策指導したことで経営改善に貢献できた。②【区分3】商工会ホームページ更新事業：観光施設や事業所に関する問合せがあり、赤城地区に関しては商工会ホームページからが多く寄せられた。③【区分4】地域小売商業振興対策事業：参加事業所は、4件と予定の40%に止まったが、具体的事例や参加者店舗を診断し合うことで、客目線でのポイントを具体的に習得でき、即日実践された。④【区分4】プレミアム付商品券発行事業：卸小売業、サービス業の66件が登録事業所となり、9月28日から9日間で販売完了し99.9%の回収で、地域事業者の活性化に貢献できた。⑤【区分8】商工会組織率：加入者6件（うち創業2件）に対し廃業14件と開業者の7倍であったが、事業所統計調査で商工業者が111件減少したことで目標	①指導業務を強化することで、事業所や地域の把握に努めると共に事業者に対する確かな対応で経営改善を図る。②事業者ホームページと商工会ホームページの連携により販売促進が図られる効果を上げるように努める。③継続的に実施することで、更なる店舗作りと意識改革を図り小売業の振興に結び付ける。④継続的に実施することで、一定の商業活性化が期待される。⑤更なる組織率向上のために、商工会業務周知や役員との協力の下、事業展開を図	4月24日	5月27日	
富士見村	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	84.9% 14.3% 90.0% 39.9% 79.4% 100.0% 100.6% 94.6%	①【区分8】会員加入促進：新規商工会加入者は9名であったが、脱退者が53名あり、会員数が激減した。会員アンケートの実施を行い、ニーズ把握に努めた。②【区分8】公用車による企業広告掲載：会員事業所のPRとともに、商工会活動（委員会活動）のPRが出来た。また、商工会の自己財源確保に寄与した。③【区分7】防災照明灯設置事業（自然エネルギー利用）：グリーン電力基金（GIAC）の助成金が5箇所分採択され、事業化が決定。また、自然エネルギー（太陽光）発電を利用した発電設備を設置した。	①組織強化のため毎年継続して事業を実施して行くことが必要。②常に会員ニーズを的確に捉え、会員企業のPRツールを商工会公用車以外にも普及・推進することで、自己財源確保の期待もできる。③大鳥居ライトアップは今後も実施し、ランニングコストの削減を図っていく。	5月8日	5月22日	

黒字：達成、緑字：県内平均超、青字：県内平均以下、赤字：未着手

平成20年度商工会事業評価システム【事業分野別指標達成度及び注目すべき実績】一覧表

商工会名	指標達成度		注目すべき実績		目標値設定の妥当	報告の有無	
	事業分野	達成度	重点課題項目として実施した注目すべき実績はどうか	今後の展開について	妥当性はあるか	理事会	総(代)会
渋川市子持	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	88.0% 19.0% 19.4% 46.3% 18.6% 50.0% 81.3% 89.4%	①【区分8】小規模事業者振興対策事業：商工会通信を地区内全戸に配布。事業者だけでなく、地域住民に広く商工会事業を理解していただくことができた。②【区分7】白井宿六斎市開催事業：市当局と連携し、武者行列、弥酔の句会、六斎市の3つを「白井宿八重ざくら祭り」の総称で盛大に開催した。③【区分4】プレミアム商品券発行事業：1割のプレミアム付商品券を1,100万円発行した。5店舗利用・10店舗利用それぞれのスタンプラリーを実施し、達成者には景品を贈呈した。	①会員事業所紹介記事による広告宣伝効果が好評であり、定期的な発行を続けていきたい。②行政からの期待度も大きく、今後も更に発展させていきたい。③市からの補助金削減により、プレミアムが2割から1割となったが、依然購入者は多く、今後も発行していきたい。		5月13日	5月28日
渋川市伊香保	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	91.0% 189.6% 71.5% 108.3% 74.9% 100.0% 99.7% 89.5%	①【区分7】青年部活動：ハワイアンフェスティバル等の地域イベント、夏期イベント、降雪時対策事業。②【区分7】女性部活動：ほうずきの配布事業、お多福行列、桜の植栽事業。③【区分1】巡回指導の充実：各種共済等や施策普及を利用し、巡回回数を増やした。④【区分7】水沢うどん街活性化事業：「日本三大うどん」のほり旗作成、水沢うどん商標登録店組合・店名入りパンフレット作成、歓送迎看板の設置、バス待合所の設置。⑤【区分7】伊香保まつり主管：地域住民の交友の場の提供による住民1人1人の思いづくり。また、9月という閑散期での誘客につながり、渋川警察等から伊香保まつりに対しての評価向上。	①後継者育成はもとより、今後、様々な展開が期待できる。②伊香保地区の恒例の行事として定着してきているが、さらなる展開・発展を推進するため、協議・研究する必要がある。③計画的かつ効果的な計画のもとに、巡回指導体制を充実させ、継続して重点事項として実施したい。④今後、市行政と連携し新たな事業展開が期待され、商工会の地位向上につなげる。⑤新渋川市の観光の拠点として、今後も地域振興・活性化の観点から、継続して		5月7日	5月21日
榛東村	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	92.1% 53.5% 54.3% 89.7% 55.3% 50.0% 84.4% 86.2%	①【区分1】巡回指導事業：回指導比率が68%と前年比2%増となった。②【区分2】創業・新分野進出支援関連事業：会員個々のニーズに対応した情報提供、具体的指導により新分野進出が図れた（経営革新計画承認：1社、経営革新支援事業：2社）。③【区分2】創業支援：新規事業者の把握と安定会員として組織基盤強化が図れた。④【区分8】財政基盤強化：共済事業のPR事業実施し、役職員で加入勧奨。また、巡回指導を積極的に活用し、各種共済の加入勧奨。⑤【区分8】会員加入促進：加入勧奨を実施した結果、新規加入者5名ありましたが、廃業等脱会が10名で、前年度末に比べて5名の純減となり、会員数302名で目標を下回りました。	①唯一の地域経済団体として、地域活性化のリーダーとしての必要性を更に深く理解をいただく。②今後も継続し、新事業分野への進出企業を迅速に把握し、取組みを進めたい。③適切な創業支援と情報の収集が図れ、指導環境整備に努める。④商工会事業内容と利用方法、加入と共済利用によるメリット積極的に広報活動を実施する。⑤商工会事業内容と利用方法、加入の仕方について積極的に広報活動を実施する。		5月8日	5月20日
吉岡町	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	83.9% 48.1% 76.2% 100.0% 10.1% 0.0% 72.8% 91.7%	①【区分8】会員加入促進事業：廃業等により脱退者が23件に上ったが、加入推進の結果16件の加入があり、実質7件の減少にとどめられた。②【区分8】吉岡町指定ゴミ袋等販売事業：今年度のごみ袋会計決算額：1,640万円であり、前年度対比108%の実績になりました。③【区分3】パソコン研修会：エクセルコース6日間、事業所で役立つ関数を研修した。④【区分7】無料職業紹介事業：求人情報誌を毎月発行し町・公共機関銀行、商工会等に備え求人・求職の情報を提供した。⑤【区分8】商工会広報誌発行事業：商工会の行っている事業を紹介した記事を載せた広報誌を発刊し、全会員へ配布し、商工会への帰属意識を高めた。	①今後も吉岡バイパス沿線に出店する事業所の動向に注意しながら、継続的に実施する。②商工会の財源確保並びに取扱店の販売ツールとして今後も積極的に取り扱っていききたい。③今後も会員から期待される内容を検討しながら、実施していきたい。④職を求める地域住民に職を斡旋し、商工会の社会的責任を果たすべく、今後も積極的に行っていきたい。⑤今後も会員の連携強化を図るため、定期的に広報誌を発刊していきたい。		5月14日	5月20日
玉村町	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	87.2% 57.9% 57.4% 101.4% 12.2% 0.0% 101.2% 83.1%	①【区分2】玉村町創業塾の開催：創業塾開催：平成20年9月6日(土)～9月28日(日)、計6日間開催。②【区分4】玉村町商工会商品券パワーアップ事業：玉村町商工会商品券の販売(20年度実績：3,819千円)。③【区分7】商工会春まつり：「春まつり」は商工会の単独主催。④【区分2】たまむら経営革新塾開催：平成20年10月4日(土)～11月1日(土)、計5日間開催。⑤【区分4】ふるさとまつり「うちわ大抽選会」：ふるさとまつりへの来場者総数は約30,000人。⑥【区分8】会員組織率強化事業：巡回指導等で未加入の事業所へのアプローチを実施。⑦【区分2】たまむら安心リフォーム組合設立支援事業：10月28日開催の設立総会には商工会員(建設業関連)の中から、協賛した22名の組合員が出席し、組合がスタートした。⑧【区分5】たまむら歌留多企画制作事業：玉村町郷土かるた「たまむら歌留多」普及浸透(H20年度玉村町商工会青年部重点事業)。⑨【区分8】全会員対象親睦日帰り旅行：参加者総数203名、大型バス5台のチャーターとなった。	①創業塾実施により一社でも多くの起業を実現させ、最終的な成果として商工会会員増強に繋げたい。②直接的な経済効果が見込めるため、多方面へPR強化したい。③「ゴミが出ない玉村町のまつり」を目指したい。④会員企業へ個別対応し、経営指導の中で1社でも多くの経営革新計画承認を目指す。⑤反省課題等は見直し継続実施予定である。⑥「本業復帰」巡回指導の徹底により既存会員の満足度の向上を図る。⑦今後は玉村町商工会と事務委託契約を締結する予定。⑧21年度より本格的な競技歌留多大会も実施予定。⑨今後も継続実施し会員満足度の向上		5月12日	5月20日

黒字：達成、緑字：県内平均超、青字：県内平均以下、赤字：未着手

平成20年度商工会事業評価システム【事業分野別指標達成度及び注目すべき実績】一覧表

商工会名	指標達成度		注目すべき実績		目標値設定の妥当	報告の有無	
	事業分野	達成度	重点課題項目として実施した注目すべき実績はどうか	今後の展開について	妥当性はあるか	理事会	総(代)会
安中市	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	81.7% 14.3% 48.0% 84.9% 36.8% 100.0% 69.2% 86.2%	①【区分5】中小企業庁「地域資源∞全国展開プロジェクト」：当事業を安中市の名物でもある「梅」製品の製造・生産を行うことに決定。梅の成分分析・ブランド戦略の方向性を模索した。②【区分5】天然記念物の枯木を活用した通行手形作成事業：国指定天然記念物安中原市杉並木の杉一本が落雷により枯死したのに伴い、貴重な杉材を活用し旧街道（中山道）をモチーフとした通行手形を作成。③【区分5】湘南新宿ライン誘致事業：誘致に向けての署名活動を実施し、JR東日本、県に132,448名の署名を提出した。④【区分8】部会等合同研修事業：会員相互のコミュニケーションと情報交換を兼ねて、JAPANSHP2009の視察研修を実施。	①梅のサプリメントの開発・販売による「安中市」ブランドの定着・地域振興のPRを図る。②樹齢300年程の材料を活用し長寿や関連グッズの作成を検討。③市民及び広域連携により、早期の誘致を目指す。④事業内容を検討しつつ、継続開催として実施。		4月21日	5月22日
高崎市榛名	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	89.7% 75.4% 51.2% 85.3% 11.6% 66.7% 105.2% 81.2%	①【区分1】巡回指導と窓口相談業務の迅速化：7件の新規会員獲得に繋がった。また、巡回指導件数の増加により、会員ニーズを把握できた。②【区分2】相談指導の強化：創業者の開拓とともに、会員ニーズの把握が図れた。③【区分3】第10回パソコン研修：電子申告者増加により節税と事務軽減がはかれた。④【区分8】収益事業の強化：電子入札の指導、消費税代行による納期限厳守、記帳代行2件新規獲得、電子申告による節税。⑤【区分4】イルミネーションパザール：商店街活性化に寄与するとともに、大型店に対抗する手段を取得した。	①職員の資質向上と業務効率化をさらにはかる。②職員の更なる努力で資質向上につとめる。③さらなるパソコン知識の向上を図る。④会員ニーズに合致した業務の増強を図る。⑤イベントを活用した空き店舗対策や町並み景観事業を実施し、さらなる活性化につなげる。		5月13日	5月20日
高崎市倉沢	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	98.9% 19.0% 22.2% 57.6% 25.2% 50.0% 63.9% 83.1%	①【区分1】消費税円滑化対策事業：所得税、消費税の個別指導会を実施した。②【区分3】ホームページ更新事業：掲載事業所を募集し、ホームページの更新を行った。③【区分4】睦会活性化事業：睦会加盟店での消費者サービスを実施し、町外流出の歯止めにも効果があった。④【区分5】地域資源活用事業：地域資源を町外へPRできた。⑤【区分8】商工会組織基盤強化事業：加入者1名、脱会者12名、純減11名となり後継者不足等で会員減少に歯止めはできなかった。	①引き続き指導会をスムーズな申告ができるようにしていく。②情報を充実しアクセス数の増加を図る。③事業実施内容の見直しを継続したい。④市産業課と事業内容を検討し今後も継続したい。⑤未加入者への積極的な加入勧奨を今後も実施し、現状維持をしたい。		4月21日	5月20日
高崎市箕郷	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	125.6% 28.6% 90.2% 103.2% 29.2% 100.0% 75.0% 83.1%	①【区分8】会員加入促進：年1回の加入促進日を設定し、役員10名、職員3名総勢13名にて3班に分かれ27事業所を戸別訪問して、商工会のPR、未加入事業所の掘り起こしが出来た。②【区分1】知的財産権普及講演会：「ヒット商品はこうして生まれた!!」と題して、羽鳥国際特許事務所 弁理士 中村 希望先生を招き講演会を行った。③【区分1】技術基盤強化支援事業活用による指導：税理士・中小企業診断士・弁護士等専門家を招致し、19事業所の指導支援を実施した。④【区分7】青年部アゲ×アゲ祭実施（産業祭事業）：来場者は述べ3,500人を超え、幅広い方への商工会員・商工会活動のPRの場となった。⑤【区分1】事業承継講演会：「円滑な事業承継のあり方」と題して、税理士 小和瀬 一幸先生に講演頂き、改正税法点・詳細な対策方法・準備について講演頂いた。	①年1回の加入促進では、成果を上げるのは難しいので普段から加入促進に心掛ける。②今後は講演会ではなく、個別に相談に対応していく。③良い事業なので、更に多くの会員に制度を利用して頂くために、積極的な普及に努める。④より幅広い年齢層の参加を促せるイベントを目指す。また、より多くの商工会員の紹介の実施。⑤事業承継の具体例を挙げ、現実問題としての事業承継に対し、有効な情報を提供できる内容とする。		4月24日	5月22日
高崎市群馬	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	82.8% 50.8% 44.8% 105.7% 12.5% 100.0% 50.1% 138.0%	①【区分7】イベントの実施：青年部主催によるイベント「青年部広場」を箕郷商工会青年部との共催で、春、秋の2回開催した。②【区分8】商工会通信の発行：商工会通信（A3両面）を毎月会員に配布し、リアルタイムに商工会から情報の発信を行った。③【区分7】福祉事業の実施：青年部主催による福祉事業（クリスマス福祉事業、節分福祉事業）。④【区分3】パソコン活用講習会の実施：個人事業者を対象としてエクセル、アクセスの基本講習の実施。⑤【区分1】エキスパート及び個別個店指導の充実：エキスパートバンク（専門家派遣事業）を効率よく活用することで、より専門的な指導・支援を実施した。⑥【区分8】会員事業所PR事業：高崎市群馬支所及び福祉会館の2ヶ所にカタログスタンドを設置し企業PRの場として活用した。	①毎回好評であり、工夫をしながら内容の検討を行っている。②商工会の事業内容を理解していただける機会であり、今後も積極的に行いたい。③定着してきており、工夫しながら今後も継続していきたい。④アクセスに関しては今後も継続して実施してほしいとの要望も多く配慮していきたい。⑤各事業主のかかえている問題が鮮明になり、将来への指針が得られるよう配慮したい。⑥今後は効果的なチラシ・パンフレット作成講座を検討したい。		5月8日	5月29日

黒字：達成、緑字：県内平均超、青字：県内平均以下、赤字：未着手

平成20年度商工会事業評価システム【事業分野別指標達成度及び注目すべき実績】一覧表

商工会名	指標達成度		注目すべき実績		目標値設定の妥当	報告の有無	
	事業分野	達成度	重点課題項目として実施した注目すべき実績はどうか	今後の展開について	妥当性はあるか	理事会	総(代)会
高崎市新町	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	129.5% 28.6% 61.8% 74.4% 34.2% 100.0% 88.8% 89.1%	①【区分3】情報化関連指導の充実化：電子入札共同システム説明会の開催、パソコン講習会の開催（延べ18回、336名受講）。②【区分1】知的財産権セミナー：弁理士を招いてのセミナー開催、「知的財産権」に関するパンフレットの配布。③【区分4】大型店対策事業：汎用マップの作成配布。マップと一緒にスタンブラリーの台紙も配布。④【区分8】新町支所、区長会等との連携強化：地域イベントの実施（新町ふるさと祭り～花火大会・盆踊り・神流川合戦等～、商工祭、ひなまつり、花水木まつり）。マップ等の配布（大型店対策、地域振興調査事業による商店・飲食店・史跡マップの配布と、調査報告書の配布）。⑤【区分7】地域振興調査事業：地域資源の調査整理、中学生(1・2年)へのアンケート、「まちづくり」講演会。	①実践的な内容で、更なるスキルアップを図って行きたい。②専門家派遣や相談会の開設を検討したい。③各店の個性を活かした「逸品運動」を展開したい。④今まで以上に区長会、婦人会との連携を深めて行きたい。⑤研究会を継続設置し、具体化に向けての検討を進めて行く。		5月14日	5月22日
藤岡市鬼石	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	78.6% 120.6% 65.6% 104.7% 79.9% 100.0% 88.2% 85.9%	①【区分4】共通プレミアム商品券発行事業：藤岡商工会議所と一緒に昨年度9月に20%プレミアム商品券の発行事業を実施した。②【区分7】販売用見本庭園のPR活動：経済環境の変貌と消費者嗜好の変化で、造園産業も斜陽化してきているため、ホームページの作成を実施した。③【区分1】e-taxの推進事業：藤岡税務署と共催でe-taxの周知普及の講習会を実施した。④【区分3】藤岡商工会議所との役員交流研修会：8月末に藤岡商工会議所で、国交省港湾局長の須野原氏を招いて藤岡のまちづくりについて講演会を実施した。⑤【区分8】組織財政特別特別委員会の設置と活動：8月に組織財政委員会の規程を見直し、9月より11回の割で委員会を開催した。⑥【区分4】まちづくりNPO法人の立上：NPO法人の設立総会まで進めなかった。	①市の補助金が続く限り、これからも実施していきたい。②造園業のPRをするため、今年度はパンフレットを持って東京圏でチラシ配りをする予定である。③e-taxの使い勝手の良さをもっと周知させ、今後の普及活動に反映したい。④今後も、藤岡商工会議所と合同で役員交流研修会を続けていきたいと考える。⑤2009年度も引き続きこの委員会を継続し、これまで山積する課題を解消したい。⑥2009年度はまちづくりNPO法人を立ち上げた。		5月11日	5月25日
吉井町	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	104.3% 19.0% 109.7% 97.5% 29.0% 66.7% 94.5% 79.8%	①【区分1】巡回指導を中心とした経営改善普及事業：月平均162回(指導員2名)の巡回指導実績で対応した。②【区分3】情報化関連指導・講習会の充実強化：電子入札移行に伴う操作手順指導、並びに入札システム対応支援。「デジカメ操作」「ソフト操作」「年賀状等作成」研修の実施。③【区分4】商人塾「繁栄も衰退も主役は自分」：日本ヒューマン研究社、大塚徹先生によるセミナーを開催、35名受講。④【区分7】商工会・部会活動活性化への取り組み：商業部会一三井アウトレット入間視察、商人塾セミナー開催。工業部会一第28回商工業製品展を実施運営、22社出展。青年部一青年部神輿運営、やぐら周り運営、まつり会議等支援。女性部一例年、商工貯蓄共済数百口の加入勧奨。⑤【区分8】収益事業と自己財源確保：新規加入者を増やすため会員からの情報収集を実施。駐車場の有効活用の検討。	①計画的かつ効果的な巡回指導計画により一層完成度の高い経営改善普及事業を展開したい。②効果的・実務的な情報化関連事業を時間をかけて推進して行きたい。③中心となり活動できる若手のリーダーを育て、横の連携を深めて行きたい。④部会自ら斬新的かつ独創的なアイデアを提案し、事業に挑戦したい。⑤手数料収入アップのために、代行等に対する新たな賦課の検討。		5月15日	5月29日
上野村	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	95.9% 4.8% 44.4% 75.0% 75.2% 72.2% 83.6% 86.3%	①【区分5】創造の森上野村活性化事業支援：ちよっとレベルの高い木工教室。創造の森上野村フェスティバル(来場者4,167人、木工品売上5,050,700円、木工教室参加者164組、特産品売上738,350円)。②【区分5】特産品料理メニュー開発事業：特産品の茸を活用した料理講習会に16名が参加し、特産品の茸を生かす料理への取り組みが醸成された。③【区分4】地域商業活性化事業：サービス券企画の新聞折込800枚実施。サービス券企画を店頭掲示し、来客者へ個別にサービス券企画を説明し、周知した。④【区分3】商工会ホームページ更新事業：新規掲載事業所2件、データ更新事業所3件、事業所位置マップ更新、上野村フェスティバル案内等の更新。⑤【区分1】地域力連携拠点事業：事業承継の際の問題点の概要について研修する講習会を開催した。	①さらに参加者を広域的に募り、上野村を多くの木工家が集まる場所とし、知名度と集客力を高めていき、「木工の里上野村」のイメージを確立していく。②客を呼べるメニューを議論し、より積極的な開発意欲を増す。③参加者に、個店の繁栄のための共同事業であることを認識させ、事業を継続させ、地道な成果を積み上げる。④関心の低い事業者にホームページの必要性を説明し、掲載参加を促す。⑤エキスパートバンク等で個別相談を実施し、対		5月15日	5月27日
神流町	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	78.1% 565.1% 137.5% 271.7% 36.1% 85.7% 69.0% 93.2%	①【区分1】経営革新認定後の経営指導について：数年経過した中で、専門家(デザイン)の指導を受け、販売促進用のチラシを作成し、営業に回った。②【区分1】商工業緊急金融支援融資事業：神流町及び町議会に緊急金融支援融資策の要望書を提出した。③【区分7】地域資源活用講習会：新年度に、地域資源調査研究事業を要望するまでに至った。④【区分4】期間限定プレミアム付き商品券事業：神流町及び町議会に、本事業のプレミアム分の補助金要望を提出した。⑤【区分1】エキスパートバンク事業：専門家(税理士)派遣事業のアドバイスを受けた。株式会社の資本金を減額し、税金の均等割り、諸会費、税理士顧問料等の軽減が可能かを専門家からの視点で検討して戴いた。	①売上増が顕著に出てくれば、後継者も出来る可能性は大。②平成20年12月に要望書を提出し、翌年の1月14日から施行は、正に緊急支援策であったことで、事業所は活用して、経営安定を図ることが出来る。③地域資源認定や農商工連携により、経営革新繋がりたい。④地区別購入動向により、今後の販売戦略としての経営指導や販売意欲もみられた。⑤経営をスリム化する事により、経費の削減が出来、経営安定を図る		5月27日	5月27日

黒字：達成、緑字：県内平均超、青字：県内平均以下、赤字：未着手

平成20年度商工会事業評価システム【事業分野別指標達成度及び注目すべき実績】一覧表

商工会名	指標達成度		注目すべき実績		目標値設定の妥当	報告の有無	
	事業分野	達成度	重点課題項目として実施した注目すべき実績はどうか	今後の展開について	妥当性はあるか	理事会	総(代)会
富岡市妙義	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	98.8% 41.8% 33.3% 74.2% 35.9% 100.0% 93.7% 86.0%	①【区分1】建設・建築講習会：県土木整備部管理課情報・電子調達係、システム運用会社、県西部県民局高崎土木事務所建築係の担当職員を講師に招き講習会を実施した。②【区分1】事業承継講習会：事業承継と税金等の内容について別紙テキストのQ&Aを顧問税理士の説明により講習会を実施した。③【区分1】中小企業の資金繰り支援：認定申請書、保証申込書の作成相談。各制度資金繰り利用相談件数17件。融資決定件数15件。④【区分1】経営・技術支援強化支援事業：商工会連合会「経営・技術支援強化支援事業」を活用し、専門家の派遣を行う。⑤【区分8】会の組織強化と財政基盤確保：加入勧奨の結果新規加入者1事業所に対し、年度末に受注量の減少、高齢化に伴う事業廃業により10事業所の脱会。	①建設部会の組織強化を図るためにも継続的に実施し、部会員の資質の向上と相互の連携を図り経営安定の一助となる事を期待する。②会員企業の経営・資質向上と相互の連携を図り経営安定の一助となる事を期待する。③社会情勢や事業者のニーズに応じた内容で今後も継続的に実施する。④継続的な事業実施する事により、商工会への帰属意識の向上と組織強化へ繋げていきたい。⑤今後も継続的に実施し、会組織強化並びに自己財源確保に繋げた		4月24日	5月25日
下仁田町	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	88.0% 73.5% 59.2% 90.6% 12.4% 0.0% 95.9% 83.1%	①【区分1】巡回指導：職員の資質向上を図る必要性、意識改革が生じた。②【区分3】パソコン研修会&個別指導：パソコン研修会(エクセル応用編)を開催し、パソコンの基本操作や自動計算機能の作成方法等研修した。電子申告・納税システム、e-taxについて個別指導した。③【区分4】こんにやく手作り体験道場の利活用：町からの指定管理者としての委託を受け、事業を開始した。地元蒔蒔関連事業者や観光協会との連携しながら事業実施した。④【区分4】商業祭の開催：商業祭と同時に青年部、女性部が共催でイベントを実施している。⑤【区分8】自己財源確保と共済事業の推進：会員企業や共済契約者に各種共済等の周知を図り、数回にわたり加入推進活動を行った。また、更新手続きを率先して行い、フットワークの良さをアピールした。	①事業者全体への指導体制強化、専門家指導との連携強化、職員の資質向上が必要。②パソコン研修のニーズの把握、職員のスキルアップ。③観光業者向けPRの拡充、町内商業者等との連携。④出展者の増加対策、共催イベントとの整合、他団体イベントとの協調・確保。⑤共済の新規契約は微増、更新契約件数の確保、共済内容の周知徹底。		4月28日	5月21日
南牧村	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	121.4% 28.6% 51.1% 100.0% 37.4% 0.0% 79.0% 84.9%	①【区分1】講習会開催事業：贈与税、相続税、相続時精算課税制度等の説明を行い、事業承継時に想定される様々な問題点についての対応方法について説明した。②【区分8】商工会員増強事業：役員、職員により情報交換や職員巡回時に会員獲得を目指し、商工会案内パンフレット等利用し、会員の獲得を目指した。③【区分1】技術基盤強化支援事業事業活用による指導：問題点の解決方法については、エキスパートバンクを利用し、講師ともども企業に対し目指す方向性を示すことができた。④【区分8】女性部組織率向上対策(部員増強事業)：部員資格対象者が少ない地域ではあるが、役職員により部員獲得運動を行い、2名の新入部員加入を得た。⑤【区分8】商工会カード加入率(加入勧奨事業)：青年部・女性部の各種集まりを利用してカードの普及宣伝を行い、事務局により加入手続きを行った。	①税法等も常に改正あるため、そのつと周知等は必要である。②今後も努力を続け、組織率向上に向けての努力と意識の向上を図る。③今後も継続して事業を続け、企業を目指すべき方向性を示す。④本事業は継続して実施していきたい。⑤共通のカードを持つことにより連帯感を生み、事業への参加意識も向上させる。		4月20日	5月22日
甘楽町	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	101.9% 28.6% 68.2% 71.4% 31.3% 100.0% 96.1% 81.1%	①【区分1】巡回指導比率：巡回指導比率は、平成19年度72.2%⇒平成20年度71.1%。②【区分4】事業承継講演会：地域力連携拠点事業での講演会の実施。③【区分8】市町村との連携状況：商工会役員と町長・担当課長との懇談会を実施。④【区分3】パソコン研修：エクセルコース1回、パソコン検定3級受講用コース1回。⑤【区分8】財政確立プラン策定：財政確立プラン策定委員会を設置し業務全般の見直しを行った。	①巡回指導比率を高める事により商工会の業務に理解を示し、相談件数も上がると思われる。②今後もこのような講演会を実施したい。③行政との懇談会は役員が町の現状を知る為にも必要。④受講者の希望も多く実践的な計画を立てたい。⑤厳しい経済状況の中であったが、会員役員さんに協力していただき実施できた。		5月12日	5月27日
安中市松井田	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	96.1% 26.2% 33.3% 99.4% 11.7% 0.0% 76.9% 82.9%	①【区分7】国際コミュニティを創る会運営支援：外国人使用事業主に対し「外国人雇用と犯罪情勢」を実施。春夏の2回交流会を開催。交通講演の実施。②【区分4】空き店舗対策支援事業：「お休み処みなとや」開店一周年を迎え、今後自主運営の為の方策を検討。③【区分7】「七夕祭り」「大歳参り」：管内イベントでは1番の集客数で商店街への来街者増加。地域住民参加型イベントに移行。④【区分7】湘南新宿ライン誘致運動：署名総数13万余名、JRに対し地域の熱意を伝えられた。⑤【区分7】光通信推進協力：仮申込書1,408件を市長よりNTTに対し引渡し式を行なった。	①平成21年3月末まで、松井田警察署が安中と合併に伴いこの会も解散予定。②2年目に入り自主運営の方向がけを決めた大切な年を迎える。③32年間継続し、夏祭りとして定着しており今後も内容を工夫し、より町民に支持されるイベントづくり。④JRに対し今後も粘り強く誘致運動を続ける。⑤平成21年の早期共用開始を望むがNTTの判断次第。		4月23日	5月28日

黒字：達成、緑字：県内平均超、青字：県内平均以下、赤字：未着手

平成20年度商工会事業評価システム【事業分野別指標達成度及び注目すべき実績】一覧表

商工会名	指標達成度		注目すべき実績		目標値設定の妥当	報告の有無	
	事業分野	達成度	重点課題項目として実施した注目すべき実績はどうか	今後の展開について	妥当性はあるか	理事会	総(代)会
中之条町	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	87.4% 0.0% 52.1% 87.5% 10.3% 0.0% 96.5% 76.8%	①【区分8】 会員加入促進事業 ：新規加入者9名に対し、脱退者24名となり本年度も脱会が加入を大幅に上回った。②【区分8】 商工祭の実施 ：中之条町との共催による商工祭を実施。③【区分7】 中之条町地域振興事業参加 ：まちなみ活性化部会、伊勢町通り道づくり協議会などへ商工会として積極的に参加した。④【区分3】 商工会ホームページの作成更新事業 ：掲載事業所45件、10月～3月までに3,799回のアクセス数をカウントした。⑤【区分4】 プレミアム商品券の発行 ：行政へ補助金を要望し1割のプレミアム付商品券を2,200万円分発行。	①の運営上必要不可欠な問題なので、役員及び青年部・女性部に協力を求め、一丸となり継続して取り組む。②今後も継続し地域に根ざしたイベントとして定着を図る。③工会の意見を取り入れていただくため引き続き積極的に参加してゆく。④情報の充実と更新を頻繁に行いアクセス数の増加を図りたい。⑤町内及び近隣町村の大型店舗との差別化を図る上で今後も継続して行きたい。		4月27日	5月25日
長野原町	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	91.7% 54.8% 33.3% 95.1% 12.1% 0.0% 91.2% 87.0%	①【区分1】 小型移動式クレーン運転技能講習会 ：「小型移動式クレーン運転技能（5t未満）」講習会を実施。町内外25事業所43名の受講者全員が修了し、当該資格取得。②【区分4】 長野原町共通商品券消費拡大事業 ：商品券売捌き店16店舗とイベント会場において商品券1割引販売事業を事業費9,913千円のうち町当局より45万円の補助を受けて実施。③【区分1】 巡回指導比率向上対策 ：経営指導員2名による巡回指導は約1,200件、58.1%で前年度対比3.2pの増加となった。④【区分1】 技術基盤強化支援事業活用による指導 ：専門家の派遣により高度化・多様化する個別の相談・ニーズに対応した。⑤【区分1】 経営革新支援事業（専門家派遣事業） ：「地域力連携拠点事業」などを活用して、専門講師の派遣による効果的な指導を実施した。	①町内事業者の要望を考慮した講習内容の選定と、事業周知および実施方法の検討を要する。②本事業で発生する商品券未使用残高の増加に伴う供託金増額問題に関しては、発行団体である事業協同組合と協調して対応を検討していく。③一層の巡回指導体制強化を図るとともに、計画的な指導体制に努める。④日常的な事業啓蒙と情報収集によるマッチングの効率化。⑤地域異業種の連携体制を確立する為の情報収集活動を強化する。		4月27日	5月28日
嬬恋村	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	95.0% 83.3% 33.3% 71.7% 36.8% 100.0% 69.9% 88.9%	①【区分1】 緊急特別金融相談窓口の設置 ：年末（12月27日～31日）及び3月の（土・日・祝日）に窓口業務を行い、相談者に対応した。②【区分1】 地域力連携拠点事業 ：税理士により、「事業承継セミナー」を開催した。③【区分5】 神田雪だるまフェア ：2日間の開催期間中、約20万人を超える人があった。さらにイベントの様子がテレビでも放送され宣伝効果があった。④【区分5】 フィルムコミッション ：ロケ地の情報を提供して、映画やTVドラマ、CM等の撮影を誘致し支援した。⑤【区分8】 会員加入促進事業 ：新規加入事業者は6名、脱会者は15名となり脱会者が新規加入事業者の2倍以上になってしまった。⑥【区分8】 商工貯蓄共済新規加入促進事業 ：商工貯蓄共済の制度を理解していただき10事業所の新規加入を得ることができた。	①相談者は今後も多いと思われる。②講師が税理士だったため、税法の説明が多かったため、内容を検討したい。③さらに内容の充実を図って継続実施したい。④「群馬県フィルムコミッション連絡会議」と「信州フィルムコミッションネットワーク」との広域連携を図る。⑤商工会運営で会員加入促進は必要であり職員が一体となり今後も継続する必要がある。⑥会員が融資を受けられるよう経営指導を今まで以上に取り組む必要がある。		5月13日	5月25日
草津町	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	81.7% 101.6% 33.3% 73.6% 36.2% 100.0% 95.9% 82.6%	①【区分7】 第6回商工祭（西吾妻地区合同） ：西吾妻郡内37事業所が参加し、商品の販売等を行い出店業者の販路開拓、事業PRをする事が出来た。②【区分2】 インバウンド事業 ：草津温泉招聘事業として、英語教室を10月9日から12月4日までの毎週木曜日に開催し、合計8回開催した。③【区分8】 従業員永年勤続表彰式 ：中小企業の不況が続く中、この表彰式より従業員との意思の疎通を図り、士気の高揚を図った。④【区分8】 会員増強促進事業 ：本年、廃業等を含めて27事業所の脱退者があったが、会員増強運動により7事業所の新加入を得て、組織率の大幅な減少を防いだ。	①第7回商工祭開催に向けて（西吾妻郡内商工会青年部）話し合い企画する。②廃止を含めた事業の見直しをする。③永年勤続表彰が、従業員の新たな勤務意欲の高揚に繋がり、ひいては新会員の獲得に繋げて行きたいと思う。④恒久的継続を目指す。		4月27日	5月22日
六合村	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	113.6% 14.0% 16.7% 0.0% 10.9% 0.0% 71.8% 53.5%	①【区分1】 指導事業者1人あたりの指導件数 ：巡回年間計画により、週1回以上の巡回で、村内全小規模事業者の巡回指導完全達成。②【区分1】 技術基盤強化支援事業活用による指導 ：積極的に事業を周知し、活用促進に努め4回開催した。弁護士、中小企業診断士、デザイナー、デザイナー。③【区分2】 食品加工施設の整備 ：「農商工連携事業」説明会開催1回～中小企業基盤整備機構～、「地域づくり事業」講演会開催1回～食の時代を捉えた産業おこし～。④【区分8】 対予算自己財源比率の向上 ：手数料収入による自己財源の確保と支出の積極的削減。⑤【区分8】 市町村との連携状況 ：特産品づくり支援としての村産業振興補助金の利用による運転資金活用。ふるさと祭りの積極的参加と協力。	①年間計画により、継続的巡回指導の実施。②会員事業者の諸問題を適格に把握し、事業の有効活用。③専門家の指導により、創業者や新分野進出する小規模事業者を支援する。その中で、特産品づくりが可能となるよう努めたい。④手数料収入による自己財源の強化で、商工会の存続を計る。⑤行政や各種団体との一体連携。農・商・工連携による振興対策。		4月22日	5月22日

黒字：達成、緑字：県内平均超、青字：県内平均以下、赤字：未着手

平成20年度商工会事業評価システム【事業分野別指標達成度及び注目すべき実績】一覧表

商工会名	指標達成度		注目すべき実績		目標値設定の妥当 妥当性はあるか	報告の有無	
	事業分野	達成度	重点課題項目として実施した注目すべき実績はどうか	今後の展開について		理事会	総(代)会
高山村	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	65.7% 0.0% 16.7% 63.0% 11.9% 0.0% 49.4% 82.9%	①【区分7】アルミ缶回収事業：環境美化運動に取り組む当会では、高山村環境inもったいない」運動としてアルミ缶回収事業を行う。②【区分7】イルミネーション点灯事業：平成20年12月から平成21年1月末日の期間、点灯し通行客に楽しんでもらえた。③【区分7】「ナイトウォークinだかやま」の開催：参加者は129名（小学生15名・中学生5名・高校生1名・大人108名）のうち91名が村外者だった。④【区分5】特産品開発事業：平成21年度地域資源∞全国展開プロジェクト事業に今回選考された。⑤【区分8】行政懇談会の実施：講演会、テーマ「高山村の現況について」講師 高山村村長 荒木 毅。テーマ「農商工融合の先へ」講師 後藤 明宏 先生。	①負担が増えてきているので役員会で今後の検討をする。②アルミ缶回収事業と連動し、装飾も徐々に増えてきている。今後も連動して事業を行いたい。③改正点など意見を出していただき、よりよい第3回ナイトウォークを開催したい。④全国展開事業に選考されたことは、高山村の発展にとっても重要な役割になる。⑤高山村の良質な耕作地や観光資源を活用した農商工連携による事業に取り組んでいく。	4月21日	5月28日	
東吾妻町	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	90.5% 71.4% 52.8% 78.4% 12.4% 0.0% 67.9% 74.1%	①【区分8】市町村と連携事業：地域一体となった地域振興イベントとなり地域住民のふれあいの場とし、事業実施にあたり町との連携強化となった。②【区分5】地域アピール事業：地域をアピールするため「群馬緑化フェア」の中で「東吾妻町の日」イベントを実施した。③【区分1】地域活性化講習会事業：当地と同様な中山間地での成功事例の取り組みの講習会を実施した。④【区分3】情報化環境向上事業：通信回線の向上を図るための光ファイバー回線導入指導を実施し、合わせて通信コストの削減提案を行った。⑤【区分4】販売促進イベント事業：販売促進やプレミアム商品券販売で消費者とのふれあいを通じて商業振興が図れた。	①継続していくことにより、行政との連携や地域連携強化が図られる。②地域間競争が激しさを増す中、地域を売り出す努力をあらゆる機会にすべきである。③地域活性化を図る実現可能な施策を継続的に研究していかなければならない。④経営戦略には情報化が欠かせない。通信環境整備向上は今後も大きな課題だ。⑤継続実施により商業者間の連携を図り、より充実した事業実施を探る必要がある。	5月11日	5月27日	
沼田市東部	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	92.7% 28.6% 36.8% 101.1% 38.7% 0.0% 90.2% 87.0%	①【区分7】パンフレット作成：A3用紙の両面刷りパンフレット作成し、各事業所に配布、観光PRに活用した。掲載事業所は37事業所であった（内訳 表：食堂関係＝15事業所、裏：お土産関係＝22事業所）。②【区分3】ホームページのリニューアル：トップページを初め、内容を新しくした事で多くのヒット数を記録し「皇海山」（すかいさん）を初め「吹割の滝」（ふきわれのたき）等の問い合わせがメールや電話で多くなった。③【区分7】特産品開発事業：全国展開支援事業の採択を受けおもてなし事業の一環として商品開発をおこなった。地元生産の紫ニンジン原料とした乙種の焼酎と温泉水入りの化粧水の2種類を開発。	①本年度統一したパンフレットを作成し、沼田市東部商工会のPRに活用したい。②内容の充実を図り、会員企業の紹介を多くしネット販売にも力を入れる事で自社ホームページを持たない会員企業の利便性を強める事で組織率の増加にも役立てたい。③女将の会を中心とした事業により会としての連帯感や責任感がより一層高まり疲弊する観光業において明るい兆しがみえればと期待している。	5月29日	5月29日	
片品村	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	73.2% 0.0% 0.0% 0.0% 12.7% 0.0% 62.8% 54.8%	①【区分8】収益事業の拡充：各種共済の告知、各種満期継続の徹底。②【区分8】会員増強：4事業所が会員加入、高齢等による廃業で14会員が脱退。③【区分3】パソコン講習会の開催：5事業所が、会計ソフトによる自主会計で決算書・貸借対照表ができた。		5月8日	5月25日	
川場村	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	116.3% 100.3% 31.1% 74.1% 98.0% 100.0% 49.2% 83.4%	①【区分2】農商工連携事業：「水」をテーマに商品化を目指した。今後の販路開拓と商品のコストなど、検討課題となった。②【区分2】全国展開プロジェクト：体験学習の具体化と情報の発信をする。③【区分2】創業・新分野進出事業：展示・即売会を実施し、消費者反応を確認した。④【区分2】ジャパブランド事業：素材の可能性と話題性の発見を見出す基礎作りをした。⑤【区分1】巡回指導の強化：設備融資などの前向きな相談はほとんどないものの、巡回件数が40%上昇した。	①山里をテーマに自然食品の開発に力を入れる。②年齢層と要望内容を分析し今後の情報発信に役立てる。③コスト面・消費期間等課題をクリアして行く。④ブランド確立支援事業の策定へ。⑤必要とされている相談内容を増やして行く。	4月23日	5月22日	

黒字：達成、緑字：県内平均超、青字：県内平均以下、赤字：未着手

平成20年度商工会事業評価システム【事業分野別指標達成度及び注目すべき実績】一覧表

商工会名	指標達成度		注目すべき実績		目標値設定の妥当	報告の有無	
	事業分野	達成度	重点課題項目として実施した注目すべき実績はどうか	今後の展開について	妥当性はあるか	理事会	総(代)会
昭和村	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	104.1% 77.9% 49.5% 54.2% 41.6% 88.9% 70.4% 85.4%	①【区分7】全国展開支援事業：子育てにやさしい観光農園の育成、ミキハウスグループと連携した子育て認定制度の活用、野菜の紹介と子育て観光農園のPR、子育てマーケットへのアプローチ。②【区分7】JAPANブランド育成支援事業：ヘルシーダイエットハンバーグ商品を開発、製品化し販路開拓マーケティングの実施。③【区分7】接客・接客講習会：会員及び会員事業所の従業員を対象に接客・接客講習会を開催。④【区分7】全国展開事業参画事業者勉強会：全国展開事業の参画事業者等を対象として、「新しい地域戦略と昭和村モデルを考える」と題し、観光事業の受入体制整備のための勉強会を実施。⑤【区分1】国税電子申告利用推進：申告57件、消費税26件の実績があった。	①補助事業としては終了になるが、組織は継続し、勉強会などにより研究していく。②同事業の2年目の応募。③今後観光事業を取り入れる中で、係わる事業者向けの接客についての基本は継続して実施していきたい。④今後も継続して実施し、観光事業の受入体制の整備を図りたい。⑤今後申告書の発送がないため、申告時での商工会での管理を徹底する。		4月20日	5月22日
みなかみ町	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	192.7% 189.0% 48.3% 106.1% 32.5% 69.4% 92.5% 90.3%	①【区分4】プレミアム付き商品券発行事業：20%のプレミアム付商品券を500セット、総額600万円分発行。②【区分1】労働保険一人親方団体設立：3月23日に設立総会を開催し、当初28名で設立承認された。③【区分7】JAPANブランド育成支援事業ブランド確立支援事業（1年目）：独自ブランド「kiami」を創設、木織の生地を生かした製品3種11品を製作。④【区分8】フレンド共済増強：本所及び支所毎に増強目標数値を定め、増強を行った結果、目標を上回る契約を達成することができた。実績65口。⑤【区分7】みなかみ祭り：祭り会場に約6,000人が訪れ、花火大会は1万5,000人が観覧した。	①平成21年5月に町の景気対策事業でプレミアム商品券発行をするが、その後も定期的な発行に繋げていきたい。②みなかみ町商工会建設業者安全協会として、育成指導にあたる。③ECO商品の開発や商品アイテムの拡大を図ると共に、海外企業とのデザインコラボにより海外での展開を図っていく。④今後も自己財源確保のため、各種共済の増強を図る。⑤平成21年度は、町内商工業者を町民にPRするイベントを計画。		4月28日	5月22日
太田市新田	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	81.3% 28.6% 54.5% 108.8% 37.3% 100.0% 80.9% 95.4%	①【区分1】エキスパートバンク派遣事業の積極的活用：6事業所が申し込みを行い、懸案の解決と今後の目標が明確になった。②【区分1】専門分野に係わる講習会の実施：労務管理のポイントである、1.在職老齢年金と年金の基礎知識、2.定年の引上げと高齢者の活用についての理解を深めることで、人材の育成に繋がった。③【区分4】QRコード利用 新スタンプカード研究：QRコード利用 スタンプ研究を、視察研修を行いながら平成21年度の稼働を目指し推進した。④【区分1】ネット経営革新塾：29名の受講者が、インターネット技術を活用した経営革新を目指すための礎とした。⑤【区分3】パソコン研修会：Word・Excelの初級・中級・活用実践講座及びホームページビルダーの初心者向け講座を開催した。	①今後の目標の明確化及び事業計画の策定により、経営革新に繋げる。②労務管理を適切に行うことで従業員のモラル向上ができ、今後の目標を立て実践することで経営革新に繋げる。③QRコード利用のスタンプ研究活動を行い、本格稼働に結び付ける。④本講座を効果的に学ぶためにはパソコンの操作能力を要するので、パソコン研修会のカリキュラムを充実させていく。⑤パソコンの有効活用による会員企業の業務の効率化を支援する。		4月23日	5月27日
桐生市新里	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	103.6% 28.6% 89.7% 102.3% 35.1% 33.3% 85.7% 100.0%	①【区分8】商工会カード加入勧奨：青年部、女性部で増強を実施。カード加入勧奨パンフレットを自前で作成した。②【区分3】ホームページによる情報発信事業：会員紹介ページの追加・更新募集、イベント案内・紹介ページの追加・更新、トップページリニューアル。③【区分1】利子補給事業：商工貯蓄共済融資利子で、50事業所81件に対し5,336千円の補給を行った。日本政策金融公庫融資で、53事業所77件に対し3,428千円の補給を行った。④【区分1】決算・申告指導、e-Tax推進事業：青色決算指導会（2回、57名参加）、青色申告指導会（消費税含む）の開催（3回、69名参加）、e-Tax送信件数16件（代理送信8件、本人送信8件）。⑤【区分7】新里こどもフェスタ：「桜まつり」を改め「新里こどもフェスタ」の実施。	①普及のPR方法を再考し、部員等の加入の有無を把握しポイントを絞って加入勧奨をする。②検索エンジン上位については、小まめな更新作業だけでは限界があり、新たなページ構築が必要と考える。また、新鮮なデータをアップすることを心がけたい。③行政の支援が続く限り実施したい。④今後もe-Taxの普及を推進する。適正な決算、申告指導を継続する。⑤地区内商業振興に繋がるイベントになるよう事業展開したい。		4月22日	5月22日
桐生市黒保根	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	86.9% 28.6% 44.8% 98.1% 35.3% 100.0% 65.5% 87.0%	①【区分1】緊急保証制度普及促進事業：緊急保証制度の普及パンフレットを配布し制度の周知徹底を図ることができた。また、金融特別相談窓口を設置し、緊急保証制度の周知を図ることができた。②【区分1】事業承継対策研修会：税理士を招聘し、相続並びに事業承継の重要性につき研修会を開催した。③【区分3】電子申告納税システム普及促進事業：電子申告納税システムに関するパンフレット等により、e-Taxの周知活動を実施した。④【区分7】永年勤続優良従業員表彰事業：永年勤続優良従業員表彰式を開催し、勤続5年から勤続35年までの対象者6名を表彰した。⑤【区分8】会員加入増強運動：未加入事業所に対して、各事業所に対応したパンフレットを提供することにより、会員加入への普及推進活動を実施した。	①国や県の経済対策に対応して、今後も継続的に制度の普及促進活動を実施することにより、小規模事業者に対する経営支援を金融面から補完する。②今後も定期的に事業承継に関する講演会を開催し、地域小規模事業者に対する企業継続への取り組みを支援する。③子申告納税システムを利用する事業者数の増加を図るとともに、管内事業者のIT化を推進するための施策を実施する。④地域小規模事業者にとっては単独で従業員表彰を実施することは困		4月30日	5月19日

黒字：達成、緑字：県内平均超、青字：県内平均以下、赤字：未着手

平成20年度商工会事業評価システム【事業分野別指標達成度及び注目すべき実績】一覧表

商工会名	指標達成度		注目すべき実績		目標値設定の妥当	報告の有無	
	事業分野	達成度	重点課題項目として実施した注目すべき実績はどうか	今後の展開について	妥当性はあるか	理事会	総(代)会
東 町	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	93.9% 61.9% 130.3% 74.5% 162.1% 0.0% 94.3% 88.7%	①【区分1】技術基盤強化支援事業：エキスパート事業（建業ローンの体系の理解、企業パンフ・ちらし、商品ロゴ・商品ラベルの作成、既存HPの更新、後継者を中心とした経営計画、ターゲットを絞った販路開拓）は、商工会の事業の一つとして認識された。②【区分3】商工会パソコン研修会：3日間の講習に延べ45人の参加者があった。③【区分3】e-tax普及事業：電子申告による確定申告終了（15件の実施）。④【区分2】新分野進出助成事業：販売網の多角化、食の駅・デパート関係の催事への出店、みどり市認証ブランド申請。⑤【区分8】会員増強基盤強化事業：理容業の事業所の若手後継者が1件に加入された。⑥【区分7】地域振興事業：商工会役員、青年部、女性部、さらには一般会員を巻き込み地域の一体感を持ったイベントの遂行。	①専門家の派遣により、経営指導員の経営指導を補完する。②受講者のニーズを把握し、計画を立てる。PCの予約に関連して、事業計画を早めに立てる。③紙ベースの申告から電子申告への移行は、抵抗感があるものの、商工会のサポートにより進めることができる。④商品の付加価値を高め、地域資源の有効活用。⑤創業支援と同時に加入勧奨を継続的に実施する。		5月8日	5月20日
笠懸 町	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	84.9% 28.6% 58.6% 75.0% 37.1% 100.0% 74.4% 92.0%	①【区分8】商工会会員増強事業：ここ数年理事会において積極的に会員の加入勧奨を依頼している。②【区分3】商工会IT研修事業：3回シリーズでネットショップの研修を実施した（インターネットを利用して物品を販売している事業者2社にパネルディスカッション形式、ネットで買い物を実際にやってみる、専門家による講習会）。③【区分8】後継者対策事業：金属部会事業で事業承継者と被承継者合同で名刺交換会を実施した。④【区分3】商工会広報事業：年間4回の会報発行を実施し、会員に情報を届けている。会員の事業所紹介やイベントの情報を掲載した。⑤【区分8】部会活動の積極化：商業関係の3部会、工業関係の3部会の併せて6部会に青年部、女性部を加えて8部会を構成し、交流企画委員のもとに、年間数回イベントを行い会員相互の交流が図れている。	①商工会の組織基盤でもっとも重要なものが組織率と財政状況です。会員に必要とされる商工会を目指したい。②景気低迷の時期にネットビジネスがクローズアップされてきた。③会員相互の交流が実施でき、意義ある事業となった。④商工会加入の手段に使用し、新規会員の事業所の取材も行った。⑤部会関係の役員を多く関与させることで活動を活性化させる。		5月13日	5月21日
大間々 町	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	89.9% 28.6% 56.2% 104.0% 37.1% 100.0% 111.2% 88.7%	①【区分1】巡回指導強化：巡回指導比率55.9%→56.8%(+0.9%)、経営指導員一人当たりの巡回指導件数375→376(+0%)。②【区分3】パソコン研修：パソコン会計ソフト操作講習7日間延べ10.5時間、年賀状・カレンダー作成1日間4時間。③【区分4】100円商店街：恒例の七夕まつりと同時開催、工夫を凝らした「100円商店街」を開催した。④【区分8】商工業者組織率の向上：新規加入者5名、脱退者53名（廃業34名、転出3名、任意その他16名）となり、会員減少に歯止めをかけることができなかった。組織率は57.8%。⑤【区分8】会員福祉共済加入促進：本会役員、青年部・女性部役員を中心に加入勧奨を実施。	①巡回指導は、経営改善普及事業の根幹であり今後とも強化する必要がある。②会員のニーズに合わせた内容に見直す必要がある。③参加店の工夫、商店街の参加意欲の向上など再検討の余地がある。④更なる真摯な取組が必要である。⑤綿密な計画を立て加入促進に当たる。		4月20日	5月27日
板倉 町	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	78.3% 23.8% 103.1% 53.8% 36.9% 77.8% 79.3% 101.9%	①【区分7】いたくら花火大会の実施：商工会の関連団体で実行委員会を組織し、事業の企画・運営等を行い、町内の「いずみの公園」で実施された。②【区分7】初市の開催：商工会加盟店・関係団体に模擬店を出してもらい、餅つきや抽選会を実施した。③【区分7】金融機関との上手な付き合い方：工業部会中心に金融機関のどこを見ているかを例を挙げながら講座を実施。	①少ないスタッフ要員でより効果的な事業運営をするために、他地区への研修をし、板倉まつり花火大会に活かしていきたい。②事前の段取り計画に対し、スタッフ要員等を十分に生かされず、役割分担等を明確に周知する必要がある。③今後もこのような講習会を実施し将来明るい見通しを付けたい。		4月23日	5月22日
明和 町	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	80.6% 28.6% 90.9% 72.9% 14.5% 100.0% 57.5% 80.3%	①【区分4】感謝フェア事業：年2回、夏と冬に実施し、町内の消費者に地元小売業、サービス、飲食業の存在を強くアピールできた。②【区分3】情報化推進事業：情報化の推進を図るため、各事業所を対象として、各種システム導入方法と情報提供による支援を実施した。③【区分8】商工会会員加入促進事業：加入勧奨により3名の加入が実現し、新加入社に対し商工会会員証を配布した。	①継続事業として複数年にわたり、継続実施をする必要がある。②今後も、さらなる情報化の加速に伴い、各種情報化関連事業を継続実施する必要がある。③今後も継続し、商工会の役割をアピールしていくことが重要である。		4月21日	5月16日

黒字：達成、緑字：県内平均超、青字：県内平均以下、赤字：未着手

平成20年度商工会事業評価システム【事業分野別指標達成度及び注目すべき実績】一覧表

商工会名	指標達成度		注目すべき実績		目標値設定の妥当 妥当性はあるか	報告の有無	
	事業分野	達成度	重点課題項目として実施した注目すべき実績はどうか	今後の展開について		理事会	総(代)会
千代田町	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	80.1% 28.6% 33.3% 102.3% 95.3% 100.0% 53.4% 85.1%	①【区分8】 会員増強 ：1名の増加にとどまった（加入勧奨により13件が加入し、11件の廃業を含む12件の脱退により、会員の増加は微増であるが組織率は着実に向上している）。②【区分1】 巡回指導の徹底 ：計画的な巡回指導により、全会員事業所を訪問した。③【区分7】 プレミアム付き消費券発行 ：プレミアム付き消費券の発行を準備し、地域の事業者のPRと消費の拡大を図った。④【区分1】 制度資金の活用 ：国の緊急支援対策パンフレットの配布と周知。⑤【区分8】 共済加入促進 ：ぐんま共済の手続きにより、手数料の増加が図れた。	①組織の活性化のため常に会員増強が必要。②機動的に動くことで、会員との信頼関係を築くことにより、経営の改善発達に役立てる。③事業の効果を判断して見直す。④金融支援から総合的な経営支援に繋げることにより、事業の経営改善に役立てる。⑤会員に適した共済の提案により、各種共済の中から必要な案内をする。		4月24日	5月27日
大泉町	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	88.5% 25.0% 25.0% 75.3% 21.7% 0.0% 99.4% 82.8%	①【区分8】 会員増強運動 ：役職員一丸で取り組んだ結果、33名の加入があった。年間45名の退会者があったが、差し引き、会員数は1,001名となり、目標を達成できた。②【区分8】 商工会財政基盤の強化 ：巡回指導で、各種共済の内容等を説明することで、会員ニーズの把握や意思の疎通が図れた。③【区分1】 会員メリットの実現 ：職員の巡回を基本としたきめ細かいサービスの提供を行った。④【区分6】 商工業活性化ビジョンの作成 ：委員会7回開催、アンケート調査実施、ワークショップの実施、報告書を作成。⑤【区分7】 観光開発事業の実施 ：地域資源全国展開プロジェクト事業を活用して「ブラジル横町」で町おこしをテーマに調査研究を行った。	①役員の認識も高まり、毎年事業を継続することが必要。②継続的にPRして、会員のニーズにあった共済を提供する必要がある。③今年度も継続して実施。④地域の活性化のために実現化事業を実施していく方向。⑤ブラジル横町実現のために今後も調査研究を行う。		5月7日	5月28日
邑楽町	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.むらおこし関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	85.2% 42.9% 47.2% 75.0% 12.5% 100.0% 54.6% 82.4%	①【区分1】 緊急雇用安定助成金等についての説明会 ：中小企業緊急雇用安定助成金について、本制度活用のための基本的要件及び申請をしていくうえでのポイントについて専門家から説明を受けた。②【区分1】 中小企業における事業承継のポイント ：講習会（講師：中小企業診断士）開催。③【区分1】 新しい事業承継の税務 ：講習会（講師：税理士）開催。④【区分4】 商業マップ作成事業 ：商業マップの作成・配布。⑤【区分8】 会員増強運動 ：商工会役員による紹介、商工会役員による未加入事業者の勧誘により、13事業所加入。	①今後も助成金等についての説明会を行いたい。②今後も事業承継について講習会を行いたい。③事業を後継者へ譲る際に税法上の混乱を避けるため、講習会を行いたい。④今後は物販事業所のマップ作成についても検討して行きたい。⑤会員数の維持、増加。		4月20日	5月22日